

「家がいいね」 第201号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2021.2.1



カルテは自分のもの。各自で保存しませんが！
 立春の候、日没も遅くなりましたね。菜の花が咲き誇る隣では、麦も生えそろって来ました。四季の移り変りは以外に早く、去年の今頃は？と思ううちに、もう数年が経ってしまいますよ。他院のことですが、外来カルテの閲覧を問い合わせたところ、5年で廃棄すると、あっさり言われました。確かに**法的保存義務は5年間なのです。**



大切な医療情報は簡単に廃棄可能なのです。 沢山の個人情報や病歴を持つ負担を考えると保存は善意で成されるといってしまうかありません。ですから、**自分の医療情報は、自身で永久保存しましょう。** スマホで写真を撮れば十分保存になります。整理も簡単にできます。当院は、2002年の開院以来の情報ならお渡しします。カルテ開示と公に言いますが、私は患者さん本人とはカルテを共有し作成したので自然に提供でき、紙、電子媒体ともに可。

刺すだの「刃」だの、尖りすぎの言葉

感動したという意味で「心に刺さった」とTVやラジオで言う人が居ると知りました。身近では聞かないのですが広まっているのかもしれませんが。立春の前夜は節分。鬼を払うため豆も撒きます。



鬼は、人間自身の心の中に潜んでいて、苦境の時に現れても、人そのものなのだと思えます。鬼退治の伝説は、異部族との融合も含んで多様な価値観の交流を現したものだだと考えます。鬼を断つため様々な道具や剣を用意し、強い言葉と共に、次々と刃を振るうのは違和感があります。刺さった言葉にはアフターケアが必要かも。言葉とは、深い海からの泡のごとく丸いものです。

柔らかい言葉

在宅ホスピスケアを率先して進めてこられた内藤先生の声は穏やかです。決断はきっぱり。それは在宅の主役は患者本人であるし、支える家族も本人の意思を柱にしている、医師にも影響するのよ、と言われました。

医師会の企画↓

休診のお願い

3月22日(月) 臨時休診します。よろしくご了承をお願いします。

あなたらしく生き切るために準備すること

視聴 無料
申込み不要

2月9日まで
YouTube
←動画にて

講師 ふじ内科クリニック院長 内藤 いくみ 先生



自宅での人生を 最期まで支援します

〒516-0805
 三重県伊勢市御薊町高向 927
 電話 0596-20-8104
 ファクス 0596-20-8105
 メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可